



Vancouver滞在記 VOL. 5

～時差 17 時間の国から～



左の写真はホストファミリーとビーチに行ってサンセットを見た時の写真です。とても仲が良く、優しいホストファミリーです。右の写真は語学学校の友達と一緒に出かけた時の写真です。この日はラーメンとアイスクリームを一緒に食べに行って、公園でまったりして過ごしました。

ボランティア活動に参加しました

去年の12月末からバンクーバー日本語学校というところでボランティア活動を始めました。活動の内容は、毎週土曜日に小学4年生と高校1年生の授業のアシスタントをするというものです。冬休み期間中にウィンターキャンプという日本の年末年始の行事を体験するイベントがあり、書初めや年賀状作成などを行いました。正月ということでも思わず、お餅などの日本食をいただくことができラッキーでした。小さい子はじっとしていることが苦手で、勉強を教えるのは大変でしたが、とてもやり甲斐を感じました。外国にいて日本語や日本文化を学ぶ子ども達の様子から、あらためて日本を見つめ直す良い機会となりました。

現在の生活

バンクーバーに留学して9ヶ月になりました。英語での会話については生活に困らない程度にはできるようになりました。また、他の国のアクセントも何とか聞き分けられるようになりました。それでも、周りの人のネイティブな人の英語を聞くと、やはりまだまだ勉強が必要だと感じています。留学期間も残りわずかとなりましたが、更なる向上を目指して勉強していきたいと思います。

日常生活においては英語以上に学ぶことができました。以前は全く気にしていなかった為替相場などもチェックするようになりました。円安やカナダの物価の高さなどもあり、使った金額を日本円にしていくらだったか逐一記録するなどお金の使い方に気を配るようになりました。また、日本にいた時は家族に頼りきっていた掃除や洗濯、皿洗いなど、自分でやらなければならないため、多少ですが家事能力は高くなったと思います（多分）。



Vancouver滞在記 VOL. 5

～時差 17 時間の国から～



左の2枚の写真はオーロラツアーでホワイトホース（バンクーバーから北に約300km）に行った時の写真です。残念ながらオーロラを見ることはできませんでしたが、自然豊かなきれいな場所で温泉に入ったりしながら楽しく過ごせました。

一番右の写真はホームステイ先から見たオーロラです。太陽フレアの影響で日本でも観測できたと思います。ツアーでは見れませんが、ステイ先のみなさんと鑑賞できました。

留学を振り返って

留学は初の海外渡航ということで楽しみでしたが、正直、不安な気持ちの方が大きかったです。当初は知り合いが誰もいない、土地勘がない、言語が不自由、勝手がわからない等のせいで様々な苦労がありました。しかし、ホストファミリーや語学学校でできた友人に助けられて乗り越えてきました。留学も後半になってからは、友人やホストファミリーに逆に頼られることもあり、少しは成長を実感することができました。留学期間も残りわずかとなりました。日本に帰ることは楽しみですが、カナダでできた友人や、留学中ずっと私を支えてくれたホストファミリーと離れることはとても寂しく複雑な心境です。ただ、こんな風に思うことができるような人と出会い充実した日々を送ることができ、あらためて留学して良かったと思います。

帰国してから

帰国後は、高校生にもどり、大学受験に向けて勉強に取り組むのはもちろんですが、学校の勉強だけでなく海外の出来事にも引き続き目を向けて行きたいと思います。また、ボランティア活動等にも積極的に参加し、自分の視野や知見をさらに広げられればと思います。留学中にできた友人とも、いつかまた会えることを願い、連絡を取り続けたいと思っています。

これから留学を考えている人へ

長期でも短期でも留学には挑戦する価値が十分にあると思います。英語学習は勿論のこと、何より世界に出て、様々な人々と知り合い、そこに住み、違った価値観や文化に触れるという体験は、生きていくうえで自分の自信になり、人生の財産となります。留學生活でできた思い出や経験は、かけがえのないものであり、人生に大きな影響を与えます。もし少しでも興味があるのなら、ぜひ、挑戦してみてください。